福岡県篠栗町

ささぐり

議会だより

No.207

森林セラピーロード
落陽コース

森のささやき

意見交換会　森の案内人「森の風・篠栗」…… 2

ここをどうする!?（4人が一般質問）…… 9

令和３年３月議会号

特　集

意見交換会

森のささやき

第20回

森の案内人「森の風・篠栗」

篠栗町が森林セラピー基地に認定されたことをきっかけに募集された「森の案内人」。篠栗の森を深く知ってもらいたいとの思いで活動しています。

ボランティア参加のきっかけは？

●知り合いが森林セラピーの初回の試験を受けて、篠栗町に登録しようと思っている情報を聞いて、私も初回の研修に参加しました。

●町に何か恩返しやお手伝いをしたくて応募しました。

●山登りが好きで、たまたま「森の風」の研修の募集案内があったので応募しました。はじめは山登りの案内人の養成かなというイメージでした。（笑）

●篠栗の山は若杉山しか知らなかったし、歩けば自分が健康になるのでは、と思い応募しました。

10年の歩みを振り返り感想や長く続けるコツは？

●一番印象に残っているのは、荒田の「夫婦杉コース」を登ろうとしたとき、お客さんの1人が倒れられて、どうしたらいいかと相談した経験があります。ほかの先進基地では1人で案内しているところがありますが、篠栗では「案内人は2人必要だ」ということで、それが伝統となっています。

●皆さんの笑顔を見ながら案内していく。そして、終わった後に私たちも笑顔にさせて頂いて終了すると、すごくパワーをもらっています。

10年間やってきた中で変わらずにリピーターで来ていただいてる方がいらっしゃるのも、セラピーを支えてもらっているので、ものすごく感謝しています。

学校からの依頼もあるようですが？

●学校からの依頼は平日ですので、ガイドが集まらないということで事務局が断った経緯があるんですよ。そういうことにならないようにしていきたいです。

●今年は特にコロナウイルスの関係で1クラスずつ1日だったんですけど、そのほうが案内しやすかったという。（笑）

いつもは1クラス2人で案内するんですけど、35人ぐらいいますから、とてもじゃないけどセラピーにならないんです。今年はコロナの影響で15人ぐらいに分けたんですね。そうすると非常にうまくいくんですよ。

森林セラピーに参加される方の感想は？

●常連のお客さまは「篠栗に住みたい。」「年をとったら、ここに家を建てたい。」という方もいらっしゃいます。

●落陽コースのウッドチップなんか、非常に感動されて好印象で帰られますよ。

●篠栗を知るためにセラピーに参加しましたという方もいらっしゃいます。引っ越してきた方がよく

参加され「篠栗町がすごくよく分かりました」という意見をいただいています。

町や議会に協力してほしいことは？

●他の市町にいくと活動の拠点となる場所があります。篠栗にはそういった場所がないので、山の中にそういった基地があればと思っています。

●募集をすると90％は町外から来られる。よく話を聞くのは、体験をしたら「篠栗ってこんなにいいところなの」って言われるんですけど、「PRが下手やね」ともよく聞きます。

そこで思ったのが、やはり町内の人の森林セラピーに対する認知度が低すぎるということですね。

若杉地区では球技大会の替わりに、一緒にいろんなコースをめぐるという企画もされています。ほかの地区でも取り入れていただいて、町内の人が一緒に楽しめるような企画があればと思います。

篠栗町の森の案内人として活動されている皆さま。今回お話しを聞かせていただく中で、篠栗町の良いところ、そしてそれをまだまだ活かしきれてない思いが非常に伝わりました。

昨年で10周年を迎えられ、今後様々なイベントや企画を期待しています。

みなさんも森のささやきを聴きにいきませんか。

ありがとうございました。

1196万円

3月定例会

3月4日から16日まで、13日間の会期で開催しました。
総務建設・文教厚生常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の条例案や補正予算、令和３年度当初予算案など29議案を審査し、すべての議案を原案のとおり可決しました。
各議案に対する賛否一覧を8ページに掲載しています。

令和３年度一般会計予算

前年比 ２億7271万円(2.7%)増

※増額の主な要因はふるさと納税寄附金に対する返礼品、天空会館空調設備工事、障がい者福祉及び児童福祉のサービスに係る経費、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、篠栗小学校屋上防水改修工事、児童館LED化工事、カブトの森公園テニスコートLED化工事などです。

ふるさと納税寄附金返礼品　… 6000万円

種類も豊富になり好調なふるさと納税

新型コロナウイルスワクチン接種事業費
……2億1703万円

天空会館空調設備工事　……1652万円
カブトの森公園テニスコートLED化工事等 …2771万円

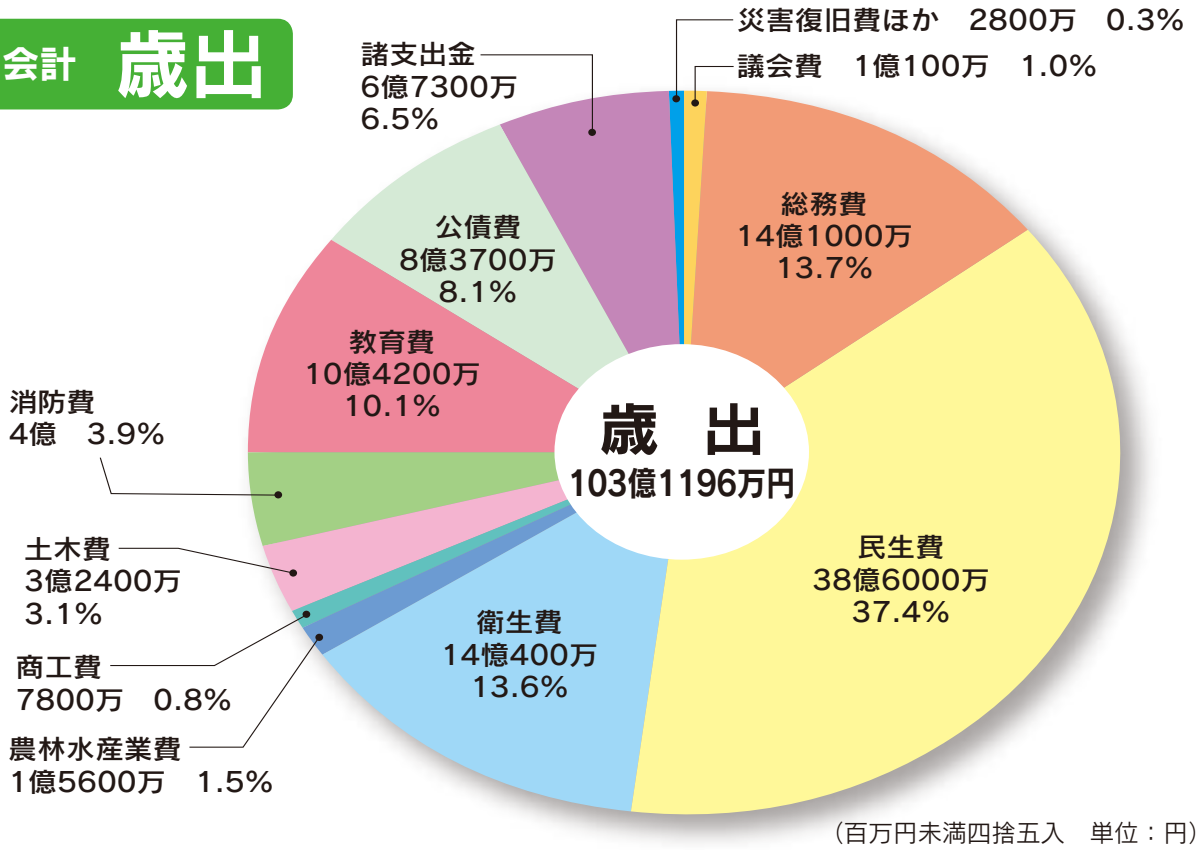
カブトの森公園のテニスコート６面の照明36基をLEDに交換

児童館LED化工事　…… 1948万円
篠栗小学校屋上防水改修工事… 2540万円

空調設備工事が前年度から行われており、今年度完了予定

町のお金はこう使います 103億

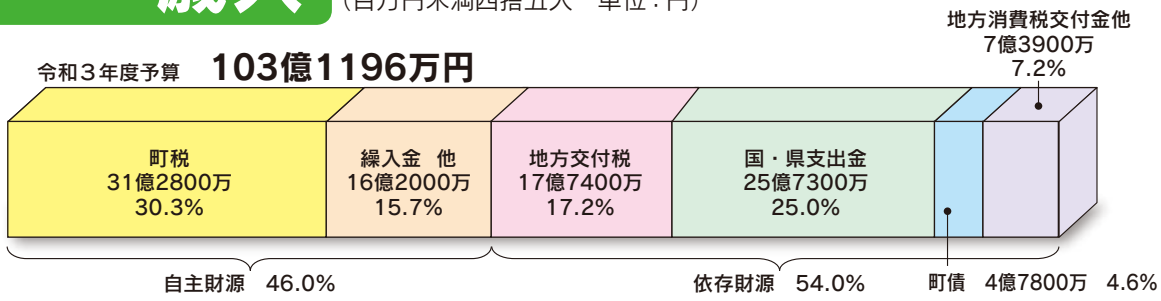
一般会計 歳出



（百万円未満四捨五入　単位：円）

一般会計 歳入

（百万円未満四捨五入　単位：円）



特別会計予算

（百万円未満四捨五入　単位：円）

会計		R3年度予算	対前年度増減
国民健康保険		27億5000万	△2300万
後期高齢者医療		4億3300万	300万
篠栗北地区産業団地整備事業		13億6600万	△10億 300万
水道事業	収益的支出	5億4500万	1500万
	資本的支出	3億2100万	△2200万
公共下水道事業	収益的支出	8億6800万	△1500万
	資本的支出	5億6000万	△1億1100万
合計		68億4300万	

「篠栗町の子どもの命を守るための条例」作成意見書提出

３月定例会のなかで、町長より5歳児衰弱死事件について、二度とこうした幼い命が奪われることがないよう「町民の幼い命を守る」町民行動の指針を議会の皆様の意見をしっかり賜り早期に実現したいとの発言があった。

議会としても、篠栗町の子どもの命を守るための条例の制定が必要であると考え、議員全員の考えをまとめ協議を行い４月９日、篠栗町執行部に提出した。

村瀬副議長から三浦町長へ意見書を提出

人事

副町長に大塚氏

大塚　哲雄氏

松田秀幹氏が令和2年11月19日に逝去されたため、新たに大塚哲雄氏が選任された。

任期　令和3年4月1日～令和7年3月31日

代表監査委員に石内氏

石内　清之氏

今長谷潔氏が3月31日をもって退任され、新たに石内清之氏が選任された。

任期　令和3年4月1日～令和7年3月31日

人権擁護委員を推薦

十時　和子氏(再任)

任期　令和3年7月1日～令和6年6月30日

農業委員会委員の任命

平井　眞澄氏

篠栗町農業委員会委員1名が、令和2年12月19日をもって辞職となったため、新委員として任命された。

任期　令和3年4月1日～令和5年7月19日

財産の処分

篠栗北地区産業団地、1区画を売却

財産の処分について

（議案第13号）

所在地　篠栗町彩り台346番11
面　積　1万6824.86㎡
売却額　8億3451万3056円
売却先　株式会社　久原本家食品

その他

町道の路線を整理

町道の廃止について・町道の認定について

（議案第14・15号）

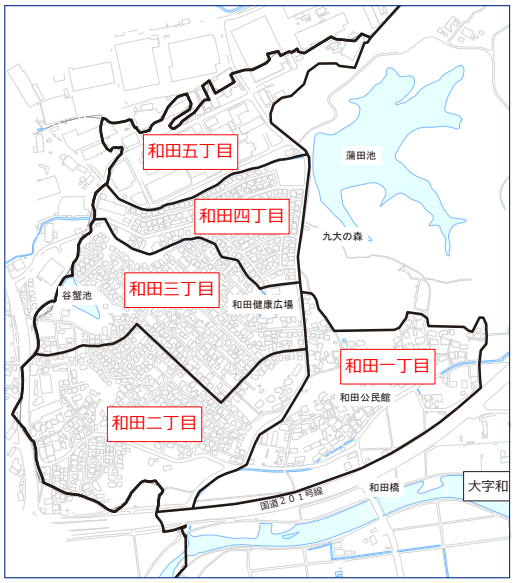
町道の台帳をデジタル化するにあたり、実態調査の結果を反映させるため、14号で一旦、全路線を廃止し、路線の整理・再編成後15号で認定した。

和田地区の住居表示始まる

字の区域の変更及び町（丁目）の区域の設定

（議案第16号）

「大字和田」の一部区域を廃止し、新たに「和田1丁目」から「和田5丁目」までの町（丁目）の区域を設定するもの。



令和3年11月6日から実施

町村議会議員研修会

1月14日　福岡国際会議場メインホール

今回の研修会は、「2021年の日米関係と菅政権の行き先」と題し、国際政治経済情報誌「インサイドライン」編集長　歳川隆雄氏による講演が行われた。

感染症予防対策の観点から時間短縮の講演ではあったが、ジャーナリストの視点で政局の展望について貴重な情報を得ることができた。

今後も各研修会等を通じて、見識を深めていきたい。

補正予算

各会計補正予算（議案第20号～議案23号）

会計別の補正予算額は下記のとおり。

会　計	補正額	補正後予算額
一般会計	8億4898万円	150億1555万円
国民健康保険特別会計	△881万円	28億8869万円
後期高齢者医療特別会計	△579万円	4億2566万円
篠栗北地区産業団地整備事業特別会計	2億1151万円	27億1673万円

一般会計の主な補正については別表1～2のとおり。

（表の1）歳入の主なもの

町債	10億7396万円

（表の2）歳出の主なもの

諸支出金　　北地区産業団地整備事業特別会計繰出金	11億5650万円

（万円未満四捨五入）

国民健康保険特別会計については出産育児一時金・受診勧奨委託料を実績等に基づき減額するもの

後期高齢者医療特別会計については後期高齢者医療広域連合納付金を実績見込みに伴い減額するもの

篠栗北地区産業団地整備事業特別会計については、主に償還金利子及び割引料（地域開発事業債の繰上げ償還分）の増額によるもの

追加補正（議案第30号～31号）

県知事選挙が4月に実施されることによる増額補正

会　計	補正額	補正後予算額
令和2年度　一般会計	563万円	150億2118万円
令和3年度　一般会計	725万円	103億1921万円

臨時会（1月28日）

小中学校の各クラスに電子黒板、書画カメラの購入

財産の取得　（議案第1号）

GIGAスクール構想におけるICTを活用した授業やオンライン授業を行うため

契約先　株式会社　麻生情報システム
　　飯塚事業所
契約金額　5666万5400円
取得する財産　電子黒板　100台
　　書画カメラ　110台
納　期　令和3年3月15日

ワクチン接種事業費を補正

令和2年度篠栗町一般会計補正予算（第8号）　（議案第2号）

補正額
新型コロナウイルス接種事業　3145万6千円
荒廃森林再生事業　711万3千円
補正後予算額　141億6656万6千円

議決結果一覧表

	議案番号	議案名	議決結果
1月臨時会	1	財産の取得について	全員賛成可決
	2	令和２年度篠栗町一般会計補正予算（第８号）について	全員賛成可決
３月定例会	3	副町長の選任について	出席者全員賛成同意
	4	篠栗町監査委員の選任について	出席者全員賛成同意
	5	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	出席者全員賛成同意
	6	篠栗町農業委員会委員の任命について	出席者全員賛成同意
	7	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	8	篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	9	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	10	篠栗町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	11	篠栗町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	12	篠栗町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	出席者全員賛成可決
	13	財産の処分について	出席者全員賛成可決
	14	町道の廃止について	出席者全員賛成可決
	15	町道の認定について	出席者全員賛成可決
	16	字の区域の変更及び町（丁目）の区域の設定について	出席者全員賛成可決
	17	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	出席者全員賛成可決
	18	糟屋郡篠栗町外一市五町財産組合規約の一部変更に関する協議について	出席者全員賛成可決
	19	須恵町外二ヶ町清掃施設組合規約の変更について	出席者全員賛成可決
	20	令和２年度篠栗町一般会計補正予算（第９号）について	出席者全員賛成可決
	21	令和２年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第５号）について	出席者全員賛成可決
	22	令和２年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第４号）について	出席者全員賛成可決
	23	令和２年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計補正予算（第２号）について	出席者全員賛成可決
	24	令和３年度篠栗町一般会計予算について	出席者全員賛成可決
	25	令和３年度篠栗町国民健康保険特別会計予算について	出席者全員賛成可決
	26	令和３年度篠栗町後期高齢者医療特別会計予算について	出席者全員賛成可決
	27	令和３年度篠栗町篠栗北地区産業団地整備事業特別会計予算について	出席者全員賛成可決
	28	令和３年度篠栗町水道事業会計予算について	出席者全員賛成可決
	29	令和３年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計予算について	出席者全員賛成可決
	30	令和２年度篠栗町一般会計補正予算（第10号）について	出席者全員賛成可決
	31	令和３年度篠栗町一般会計補正予算（第1号）について	出席者全員賛成可決

※３月定例会　松田議員入院のため欠席

4人が一般質問!

1．荒牧　泰範　議員…… 10
・篠栗北地区産業団地整備事業の成果を問う

2．岩下　勝正　議員…… 11
・JR篠栗駅東側、永田踏切の車道化を
・ワクチン接種会場への高齢者の送迎は

3．品川　　静　議員…… 12
・遍路道を中心に環境整備の長期計画を

4．横山　和輝　議員…… 13
・事業用地売却代金の納入日を議会に諮らず先送りしたことは違法行為ではないか
・農業振興地域内に企業誘致ができる法律がある。優良農地内にも出来るのか。

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年４回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

篠栗北地区産業団地整備事業の成果を問う

町長「成果を問うのは時期尚早と考える」

荒牧 泰範

問

町長は、「この事業は用地売却の後に当該地区の税収や上下水道料収入が見込め、進出企業による雇用の確保と町のランドマークとなるもの」と言われる。

私の計算では、本体工事に加え道路や地域要請工事を含めた総事業費は約57億5千万円でそれに対し売り払い収入32億5千万円程に交付税算入額等が4億7千万円強で20億円程の赤字となる。

一般会計規模が100億円、財政力指数が0.6で、経常収支比率95・4%の我町において20億円の債務がどれ程大きなものか今更申し上げるまでもないが、計画当初から返済計画もたたないような事業は無謀としか思えない。

町民のための予算の使い方は別にあったと思う。若い世代に特化した店などが入る施設を用地買収から建設まで町が行い、安価に、可能なら無償で貸与した方が活性化になったと思われるし、20億円もかからない。

当初見込みから大きく膨れた事業費を支出した本事業をどう検証してあるのか尋ねる。

答【町長】

造成工事代金等の清算を行うにあたり、売却代金によって造成費用を補う部分と、公共工事として町が投資する部分との仕分けについて、福岡県と総務省と協議した。

地方道路等整備事業債と一般単独事業債を公共工事分として活用し、産業団地開発事業債を令和3年度までに繰り上げ償還し、一般会計で公共工事に見合う起債という資金計画となる予定である。

この取り組みにおいて、町の安全・安心、渋滞路線交通網整備、上下水道網の拡大、農地関連施設の均衡整備などの充実が図られたと考える。

6企業は今回の進出をもって町の発展に大きく貢献したいとの思いが大変強く、町づくりや団地の賑わいの創出に大変関心を持っている。

また、進出企業のブランドを活かしたふるさと寄附金返礼品の充実も大変楽しみで、令和3年度は寄附金1億5千万円を計上し、操業開始見込みの令和5年度以降は更に増加が確実で、町づくりに活用できる財源をこれまでにも増して確保できる。

造成工事が完了した篠栗北地区産業団地

JR篠栗駅東側、永田踏切の車道化を

町長「実現に向けては難しい状況、今後も検討したい」

岩下 勝正

問　篠栗町の玄関口であるＪＲ篠栗駅周辺の環境整備の一環として、駅前周辺の交通混雑緩和と交通動線の変化による円滑な車両の流れや歩行者保護、および南北往来の利便性が必要と考察する。

　駅西側の篠栗病院前の田中踏切は、歪曲し離合が困難で歩行者が多く、進入待ちの車両が待機停止していてスムーズな交通動線とは言い難い。

　一方、駅東側高原踏切はエフコープ側から走行すると信号機があり、遮断機が下りていなくても踏切は渡れない現状である。このような駅周辺の交通緩和解消の一考として、現在、歩行者のみ横断できる永田踏切を車道化することにより、南北往来と周辺施設への利便性が生じると考えるが町長の見解を尋ねる。

歩行者のみ横断できる永田踏切

答【町長】

　永田踏切は、立体駐車場利用者をはじめ、下町・中町や高田・金出地区からの役場・駅・クリエイト・オアシス等への施設利用者の交通経路として重要な踏切であると認識している。

　また、車両通行化が可能であれば鉄道を挟む公共施設利用を含めた南北動線の円滑化に寄与すると思う。しかしながら、ＪＲ九州側から自由通路建設の関係者協議時に、この踏切を廃止したいとの考えを示されたことがある。

　よって、車道化するにはＪＲ側や公安委員会の対応を考慮する限り実現に向けては難しい状況であるが、今後も検討していく。

ワクチン接種会場への高齢者の送迎は

町長「効率よく送迎できるよう準備を進めている」

問　ワクチン接種について高齢者の方に多く接種いただく施策を町で熟慮されていると思うが、山間部の方や足が不自由な方などの送迎等諸問題が数多くあると思う。

　現時点での町としての取り組み、接種計画を尋ねる。

答【町長】

　現在、ワクチン接種会場を合併50周年記念体育館で実施する予定で準備を進めている。

　山間部や接種会場から遠く離れた高齢者の方々には、巡回バス等での送迎ができないか考えている。

　また、高齢者の中にはかかりつけ医や医療機関で個別接種される方もおられると思うが、巡回地域やコース等を設定しながら効率よく送迎できるよう準備を進めている。

遍路道を中心に環境整備の長期計画を

町長「森林整備計画とあわせて立案していきたい」

品川 静

問

篠栗新四国霊場１８０年の歴史は、自然環境に支えられてきた。お遍路は長い歴史を超えて地域と共存し、継承されてきた篠栗町の文化遺産であり、大切な観光資源でもある。

遍路道自体も文化財としての価値が高く、森林セラピーロードにも重なり、自然を求める利用者も多く歩いている。

しかし、これまで維持管理され守られてきた遍路道の整備が、最近、滞っているように見える。

田ノ浦から桐の木谷を通って二瀬川方面への遍路道は、通り沿いの竹や木がうっそうとして暗い山道になっている。

また、新吉野公園あたりは、復旧工事の滞りや、桜の植え替えも進んでいないと感じる。

山々を縫うように存在する遍路道の整備は、環境保全や防災にもつながる。

長期的な視点での、遍路道や観光名所の再整備について町長の考えを伺う。

答【町長】

山王地区は、今年度の秋は雨で中止したが、毎年観光シーズン前に枝打ちおよび整備等を行っている。若杉地区や金出地区も小規模ではあるが、毎年、整備および更新作業を行っている。

しかし、約50㎞ある遍路道は、町道、林道、民有地もあり、細部の整備までは行えていないのが現状だ。今後はふるさと寄附金の増額により、財源が継続確保できる可能性もある。

また、森林環境譲与税、森林環境税の一部を財源に順次整備する必要があると考える。

新吉野公園については、シカの食害などにより植栽が進んでおらず、対策を検討中である。

今後は、山林の公益的機能や社会経済的な特質の維持を行うため策定した10年間の森林整備計画とあわせて、長期的な計画を立案していきたい。

問

遍路道やセラピーロードでごみやたばこのポイ捨ての跡が見られるが、禁煙・ごみのポイ捨てを禁止する条例を制定する考えはあるか。

答【町長】

足利市の大規模な山火事もあり、非常に危機感を持っている。条例制定も検討したい。

問

桜のてんぐ巣病の対策は。

答【産業観光課長】

新たに植栽する時に、シカによる被害など、他の懸案事項とあわせて検討する方針である。

事業用地売却代金の納入日を議会に諮らず先送りしたことは違法行為ではないか

町長「整理がつかないので、後日検討し報告したいと思う」

横山 和輝

問　やまや及びケアユーに対する事業用地売却は、条例により議会の議決を必要とすることから、工事完了後確定測量が完了した時点で議案が議会に上程され議決されている。そして代金の納入通知を議決後、速やかに行うことになっているにもかかわらず、大幅に遅れた結果、企業に延滞金を求めることもできず町に損害を与えた次第である。

議会にかけず覚書により契約変更していると主張するが許されるはずもないと思うが。

答【町長】　ＦＦＧコンサルの弁護士と協議し、契約については議会にかけるが、覚書については執行権の範囲内で行っている。

問　執行部の一存で契約変更できるのであればケアユーの場合に矛盾がある。確定測量後の覚書を取り交わしたのが昨年の７月17日。そして、同日ケアユーから納入延期の要望書が出され、同月30日に納入延期の覚書が交わされた。この覚書が有効とするならば、その後の９月議会に提出された議案は納入延期決定後のものでなく、それ以前の確定測量時点の案件だったのはなぜか。これは９月議会に出された議案は、虚偽の議案ということになり違法行為となるがどう説明するのか。

答【町長】　整理がつかないので、どう違反しているのか、しっかりと検討して、後日、報告しなければならないと思う。

農業振興地域内に企業誘致ができる法律がある。優良農地内にも出来るのか。

産業観光課長「優良農地に適用されるかは、県と協議することになる」

問　「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律について」、この法律を活用すれば、農業振興地域内であっても企業誘致ができるとのこと。概要の説明を求める。

答【産業観光課長】　農業と導入産業との均衡ある発展と雇用構造の高度化を目的としている。対象となる業種には、導入により農業従事者の安定した就業機会の確保に資すること、導入産業と農業の発展が図られることなどが求められている。

問　優良農地にもこの法律制度が活用できるか。

答【産業観光課長】　農振地域から外す場合、まずは県と協議を行い、この法律が適用できるか協議したうえで農振地域から除くといった流れになると思う。

優良農地に適用されるかは、県と協議を行うことになると思う。

輝く　まちの宝

本町の小学校で、３月17日卒業式が開かれました。
新型コロナウイルス感染症対策や行事の中止などに直面しながら最後の１年を過ごした卒業生は先生や保護者に見送られ学び舎を後にしました。

北勢門小学校

勢門小学校

萩尾分校

篠栗小学校

旬花衆灯

桜散り、新緑の季節がやってきた。

そういえば去年は、五月病という声をほとんど聞かなかった。

ちょうど一年前、緊急事態宣言が出された。今までの日常が一変した瞬間だった。そして今年も予断は許されない。過去に例をみない集団ワクチン接種。新たな変異株のウイルス…。

課題は山積みである。

「昔は良かった」と弱音を吐かず、今の時代を生きる者の責任として、出来ることを精一杯やっていきたい。

藤木　高裕

６月議会は
６／10㈭ 開会
６／14㈪ 一般質問
の予定です

発行責任者　議長　阿部 寛治　　議会広報広聴委員会　委員長　栗須 信治／副委員長　品川 静
委員　村瀬 敬太郎・田辺 弘之・横山 和輝・藤木 高裕

令和３年５月１日発行
発行／篠栗町議会　福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目１番１号　TEL092-947-1390　FAX092-947-1442　印刷／㈱三光